National

保管用

保証書別添付

施工説明付き

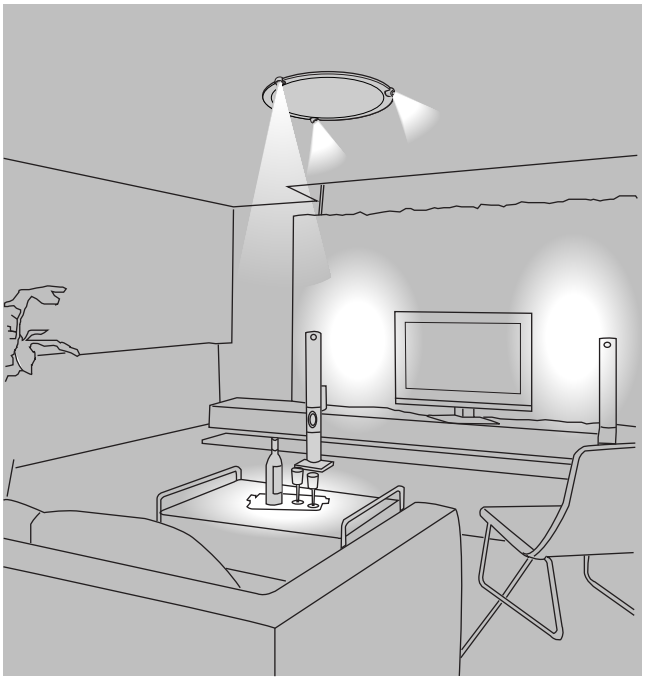
取扱説明書

住宅用照明器具（シーリングライト）

PRODUCE THEATER

プロデュースシアター（LEDスポットタイプ）

品番 SLAZ8900，SLAZ8900N



もくじ

ご使用になる前に	安全上のご注意	2〜3
	使用上のご注意	3
	付属部品の確認	3
	各部のなまえとはたらき	4〜5
	照明器具を取り付ける	6〜8
使いかた	リモコンで操作する	9
	壁スイッチで操作する	10
	全灯ボタンを押したときの明るさを変更する	10
	器具のチャンネルを変更する	10
	本体、アダプタの外しかた	10
	リモコンボックスについて	11
必要なとき	電池交換について	11
	ランプを交換する	11
	お手入れについて	11
	故障かな？と思ったら	12
	仕様	12
	保証とアフターサービス	12

上手に使って上手に節電

お客様へ

**このたびは、ナショナル照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に
保管してください。**

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

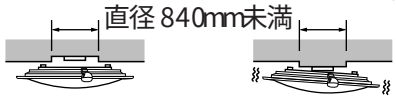
⚠ 警告

禁止

■次のような場所には取り付けない

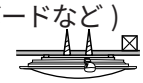
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が直径840mm未満の場所（例：下図）

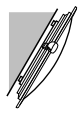


・凹凸のある場所（例：下図）

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）



・傾斜した場所



●この器具は水平天井面取り付け専用です。

必ず守る

■交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

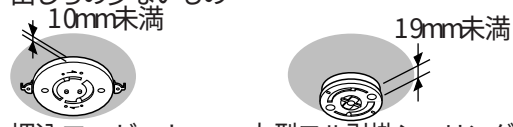
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない

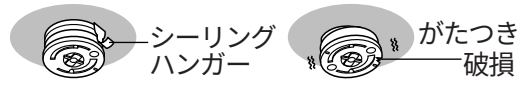
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

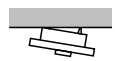


・シーリングハンガーが取り付けられたもの

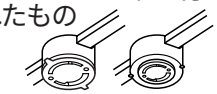
・がたついたり、破損しているもの



・斜めに取り付けられたもの



・ケースウェイに取り付けられたもの



●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して 10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
● 1年に 1回は同梱の「安全チェックシート」 (保証書内在中)に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。 取り外しには資格が必要です。)

使用上のご注意

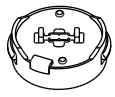
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
●低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。

付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

□ アダプタ (1個)



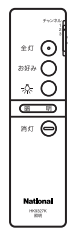
補修品番
NZ2716M

□ 配線器具
丸型フル引掛
シーリング (1個)

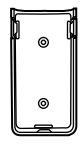
□ 配線器具用
木ネジ (2本)

●照明用リモコン付属部品

□ リモコン送信器 (3CH)
ダイレクト切替・調光用
HK9327K (1個)



□ リモコン
ボックス
(1個)

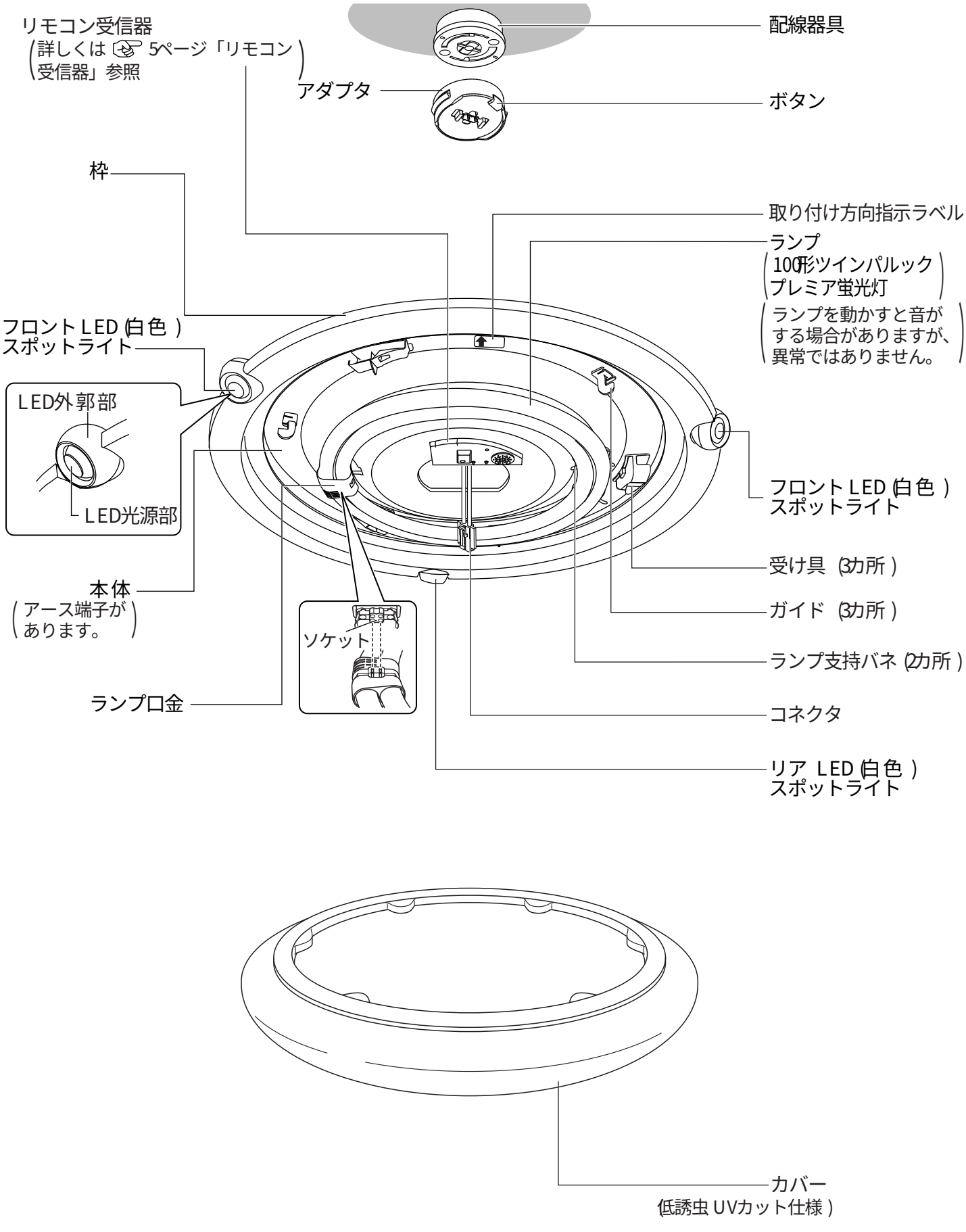


□ 単 3形乾電池
(2本)

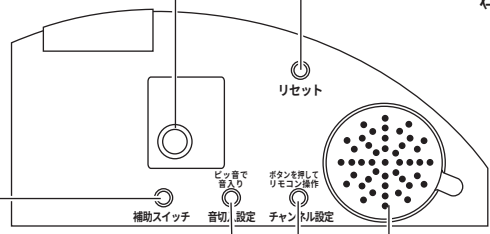
□リモコン
ボックス用
木ネジ (2本)

各部のなまえとはたらき

照明器具



リモコン受信器



リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

補助スイッチ
押すごとに点灯/消灯します。

音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
無音で「切」、「ピッ」と音がして「入」。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
☞10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞12ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注)点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

リモコンがない場合
補助スイッチを押す
⇨チャンネル1に設定されます

ブザー

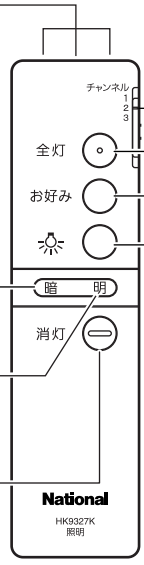
リモコン

リモコン送信部

暗ボタン
蛍光灯の明るさを100%～約10%に、LEDスポットライトは3灯(フロント+リア)2灯(フロント)1灯(リア)消灯に変えることができます。

明ボタン
蛍光灯の明るさを10%～約100%に、LEDスポットライトは3灯(フロント+リア)2灯(フロント)1灯(リア)消灯に変えることができます。

消灯ボタン
消灯します。



チャンネルスイッチ
操作したい器具のチャンネル(CH1～3)に合わせて使います。
☞10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

全灯ボタン
蛍光灯とLEDスポットライトが同時に点灯します。

お好みの明るさボタン
蛍光灯+LEDスポットライト各々がお好みの明るさで点灯します。

☼ボタン
LEDスポットライトのみ点灯します。
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

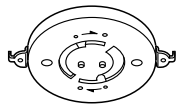
1 配線器具を確認する

取り付けできる配線器具

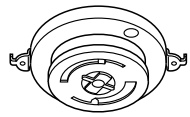
角型引掛シーリング
品番：WG1000

丸型フル引掛
シーリング
品番：WG5005
WG5015

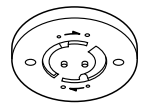
丸型引掛シーリング
品番：
WG4000,WG4420,
WG4005,WG4425,
WG1500



引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130

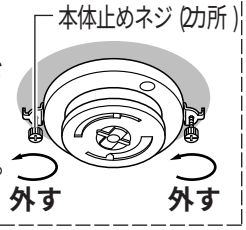


フル引掛
ローゼット
品番：WG6005



引掛埋込
ローゼット
(ハンガーなし)
品番：
WG6001WK

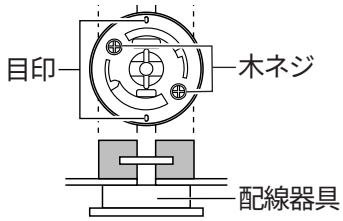
本体止めネジ (2カ所) を外してください。
外さないと照明器具の取り付けができません。



同梱の配線器具は使いません

上記 6タイプ以外の配線器具 **工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。交換には資格が必要です。**

同梱の配線器具に取り替える

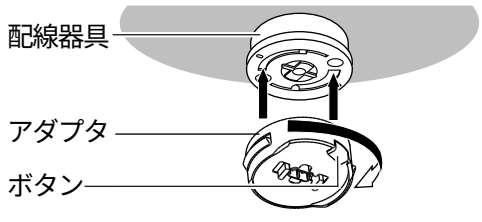


⚠警告

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付けてください 守らないと、落下によるけがのおそれがあります。

2 配線器具に アダプタを右に回して取り付ける

確認 取り付け後、ボタンを押さずに左へ回して外れないことを確認する。

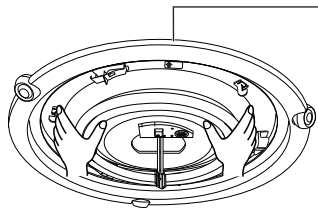


3 本体をテレビの方向に合わせて押し上げる

本体の「取り付け方向指示ラベル」をテレビの方向に合わせる

⚠注意

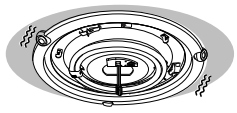
■ **ランプ、LEDスポットライトや枠を持って器具を持ち上げない**
けがや器具の破損のおそれがあります。
※必ず本体を持ってください。



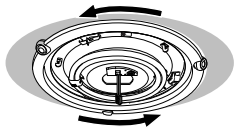
●本体取り付け後、ランプ (蛍光灯) がソケットから浮いていないか確認する。
➡浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

4 取り付け時の確認を行う

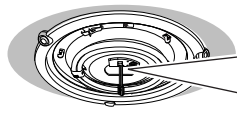
● 本体が下記の状態の場合は、正しく取り付けられていません。



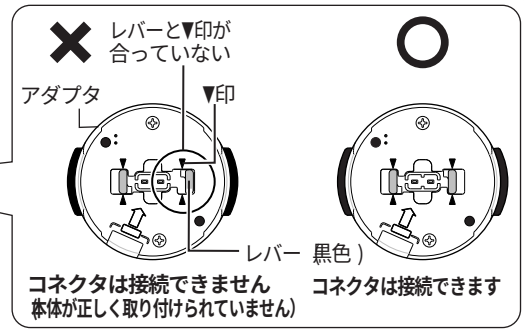
・本体がグラグラする



・本体が簡単に回転する



・アダプタのレバーが
正しい位置にきていない



コネクタは接続できません
本体が正しく取り付けられていません）

コネクタは接続できます

● アダプタの本体取り付け位置

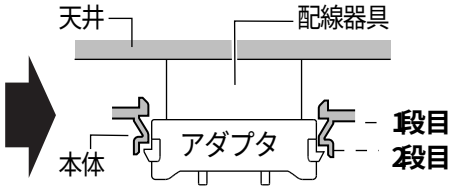
下図配線器具の場合

丸型フル引掛
シーリング

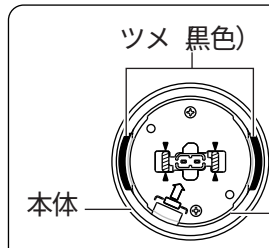
角型引掛
シーリング

丸型引掛
シーリング

フル引掛
ローゼット



2段目まで押し上げる

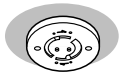


アダプタのツメ 黒色）が両方見えるまで本体を押し上げてください

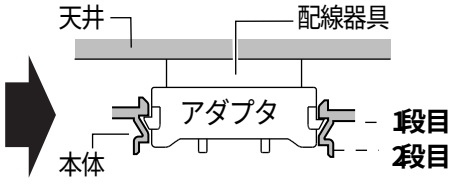
● アダプタの本体取り付け位置

下図配線器具の場合

引掛埋込
ローゼット

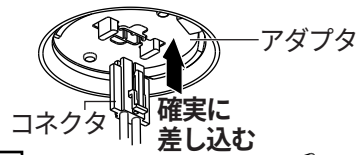


引掛埋込
ローゼット
（ハンガーなし）



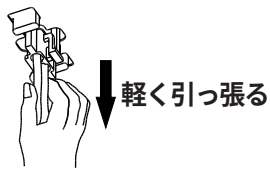
1段目まで押し上げる

5 コネクタをアダプタへ差し込む



⚠警告	**落下してけがのおそれあり** コネクタを引っ張って抜けないことを確認する

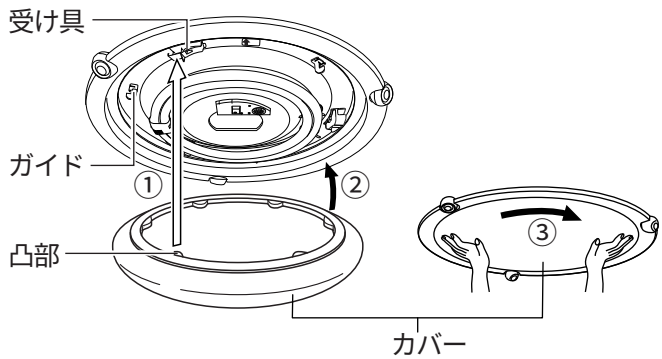
コネクタが抜ける場合は本体をさらに押し上げる。



6 カバーを取り付ける

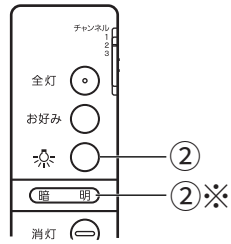
①カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
②カバーを持ち上げる
③「パチン」と音がするまでカバーを右に回す

⚠注意	**カバーは確実に取り付けてください** 落下してけがのおそれがあります。



照明器具を取り付ける　つづき

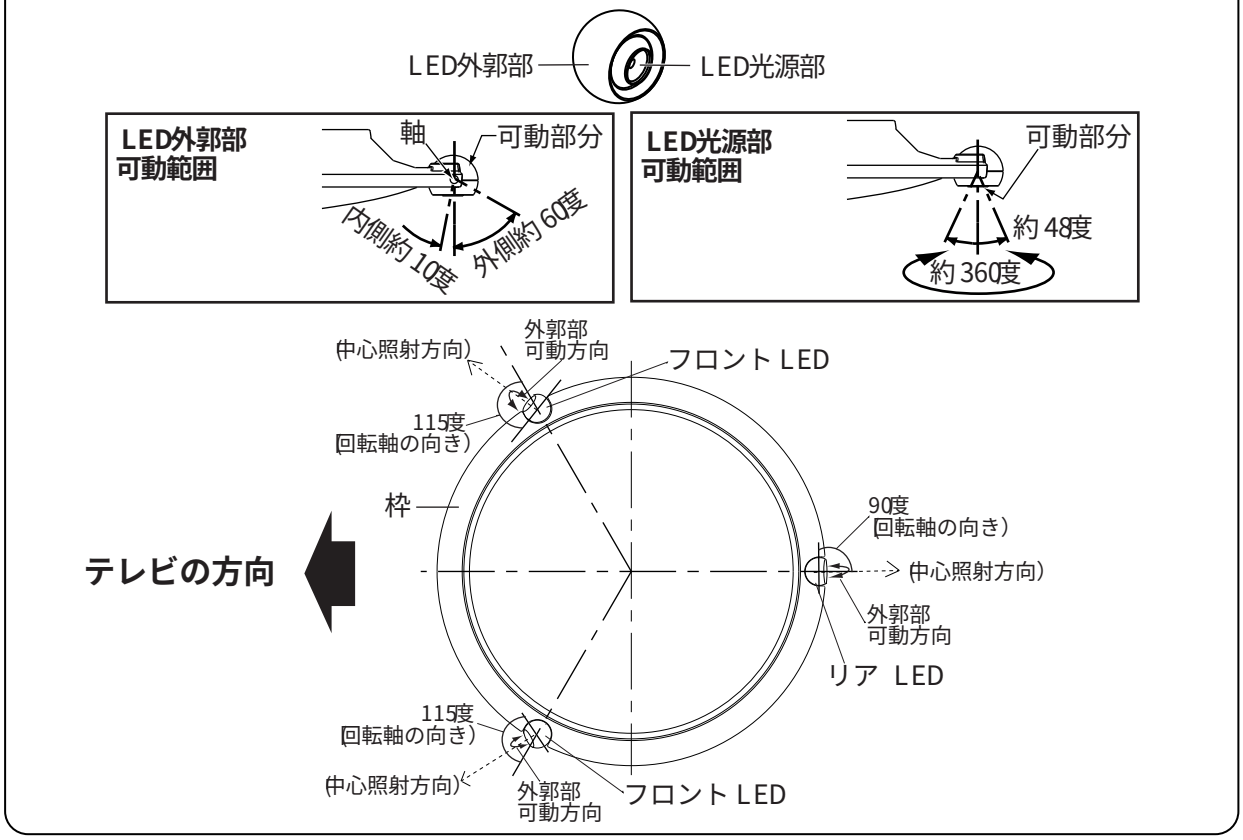
7 LEDスポットライトの照射方向を合わせる



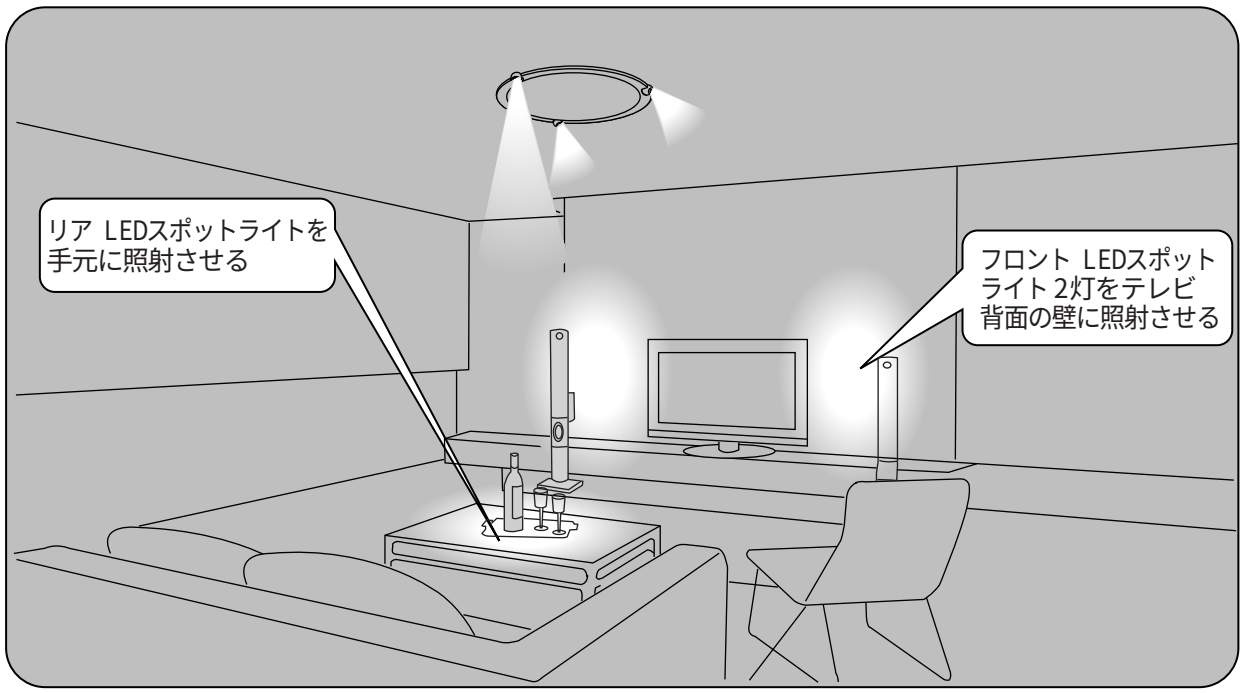
①電源を入れる
②リモコン送信器の ☼ ◯ を押して LEDを点灯させる（3灯点灯します）
※ 3灯点灯しない場合は 明 を押して 3灯にする
③ LEDスポットライトを手で可動させて、下図の方法で照射方向を調整する

● **LEDスポットライト可動部分は指定以上に動かさないでください。破損の原因となることがあります。**

LEDスポットライトの可動範囲（3カ所）

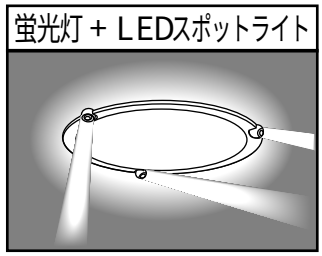


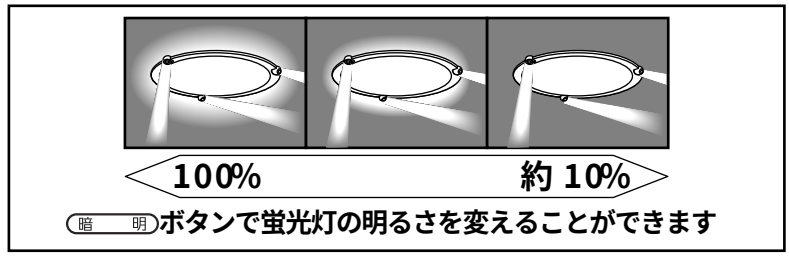
フロント LEDスポットライトの 2灯はテレビ背面の壁を照らし、リア LEDスポットライトの 1灯は手元を照らすことで、シアタールームとしてのライティングをお楽しみいただけます。



リモコンで操作する

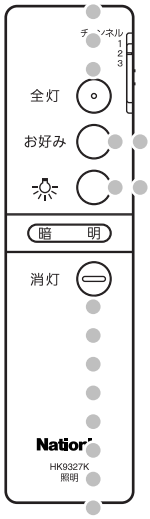
● 「全灯」ボタンを押すと、蛍光灯とLEDスポットライトが同時点灯します。
（お買い上げ時は蛍光灯100%、LEDスポットライト3灯全て点灯します。）



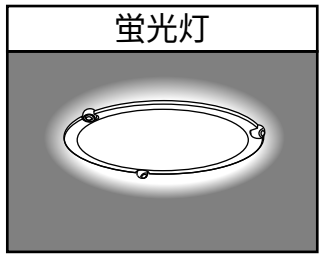


●蛍光灯の明るさを変えても記憶しません。
「全灯」ボタンを押した時の、蛍光灯の明るさを変える場合は
☞ 10ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

● 「お好みの明るさ」ボタンを押すと、蛍光灯とLEDスポットライトを各々、お好みの明るさで点灯します。（注）（お買い上げ時は蛍光灯約60%で点灯します。）

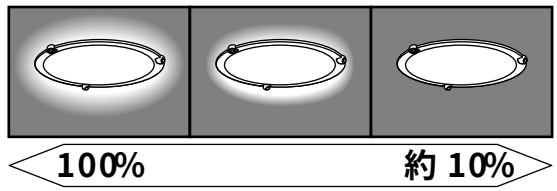


同梱
リモコン
送信器
HK9327K



① 蛍光灯の明るさを変える

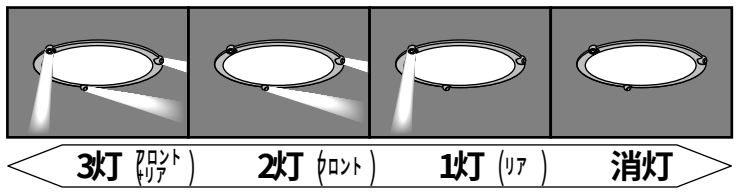
暗 明 ボタンを押すと
蛍光灯を100%～約10%で明るさを変えることができます。
●この場合、LEDスポットライトの切り替えはできません。



「お好みの明るさ」ボタンを押すごとに①、②の切り替えができます。

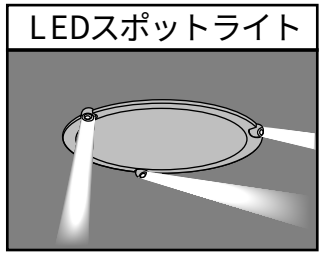
② LEDスポットライトの灯数を切り替える

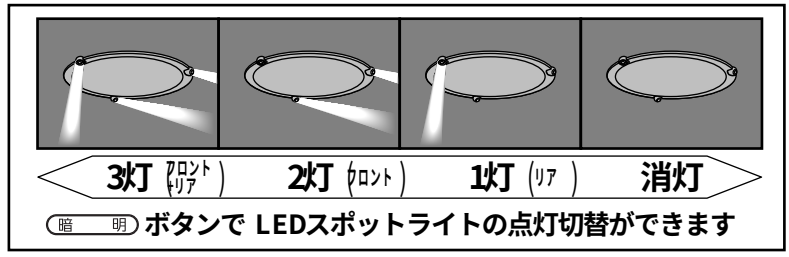
暗 明 ボタンを押すと
LEDスポットライトの灯数を切り替えることができます。
●この場合、蛍光灯の明るさを変えることはできません。



●①と②で変えた明るさは記憶され、「お好みの明るさ」ボタンを押すと再現します。

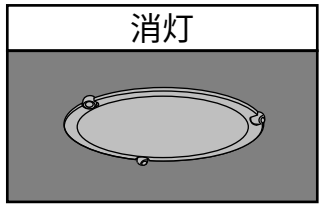
● 「☼」ボタンを押すと、LEDスポットライトのみ点灯します。
（お買い上げ時はLEDスポットライト3灯全て点灯します。）





●シアタールームのあかりとしてお使いいただけます。

● 「消灯」ボタンを押すと、消灯します。



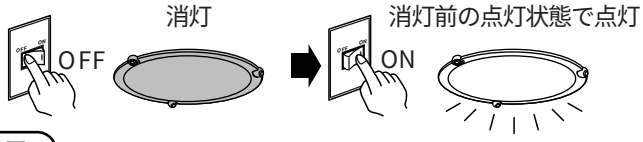
更に 明 ボタンを押すごとに、LEDスポットライトが
1灯（リア）➡ 2灯（フロント）➡ 3灯（フロント+リア）と
点灯します

注）消灯からLEDスポットライト1灯、または2灯点灯させた時、一旦3灯点灯してから1灯、または2灯になります。
注）蛍光灯または LEDスポットライトを点灯状態から消灯させたときは、ゆっくり消灯します。

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチを ONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは
「お好みの明るさ」で点灯、
「LEDスポットライト」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは
「LEDスポットライト」で点灯します。



メモ

●壁スイッチを ONしても点灯しない場合は、 壁スイッチを素早く（約 2秒以内）OFF→ ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約 2秒以内） OFF→ ONすると、
点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ 1個で 2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチが ONのままだと
待機電力（ 1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

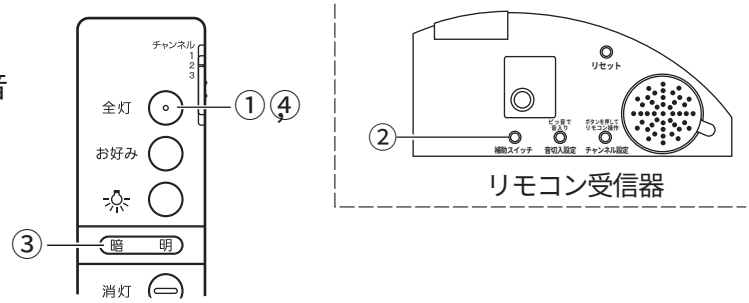
全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを 100%～約 10%の範囲で設定することができます。

①リモコンの 全灯 ◦ を押す

②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

③リモコンの 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える

④リモコンの 全灯 ◦ を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了



器具のチャンネルを変更する

リモコンのチャンネルを変更すると、 1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

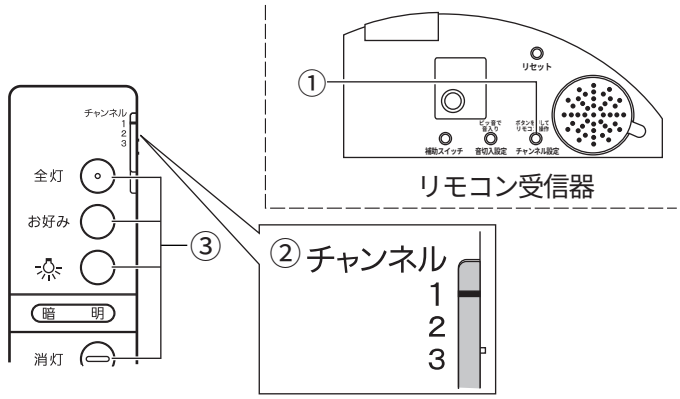
①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：CH1）

③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

メモ

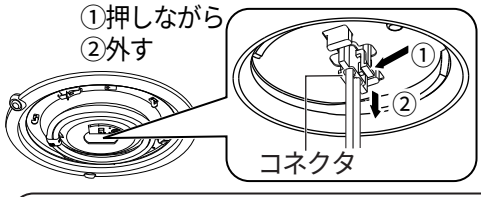
● 2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、 1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。



本体、アダプタの外しかた

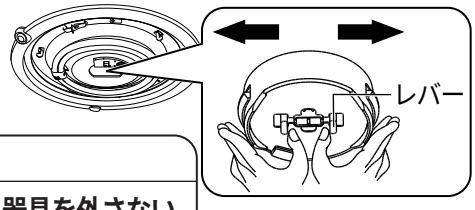
1 コネクタを外す

①押しながら
②外す



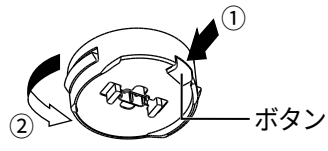
2 本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向に広げる



3 アダプタを外す

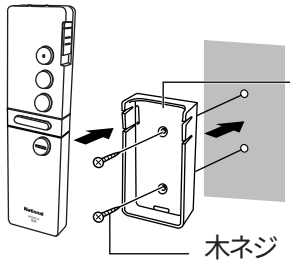
①ボタンを押しながら
②左に回す



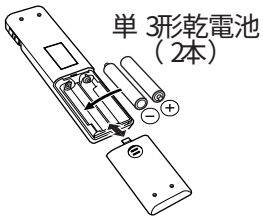
⚠注意

■ **ランプ、 LEDスポットライトや枠を持って器具を外さない**
けがや器具の破損のおそれがあります。
※必ず本体を持ってください。

リモコンボックスについて



電池交換について

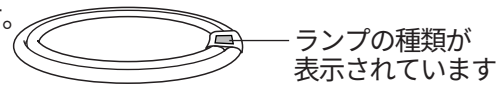


電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	**・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。** **・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。** **・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。**

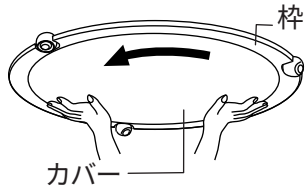
ランプを交換する ⚠注意 電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、点滅を繰り返したりするようになると寿命です。
ナショナルツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



1 カバーを取り外す

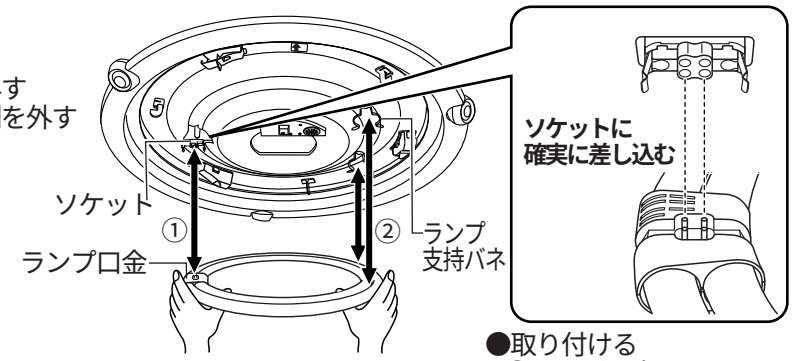
カバーを持って左に回す
→「パチン」と音がして
カバーが外れます



⚠警告	**枠は本体側に付いていますので、枠を持って回さないでください。本体落下によるけがの原因となります。**

2 ランプを交換する

●取り外す
①ランプ口金側を外す
②ランプ支持バネ側を外す



●取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②ランプ支持バネで固定する

3 カバーを取り付ける

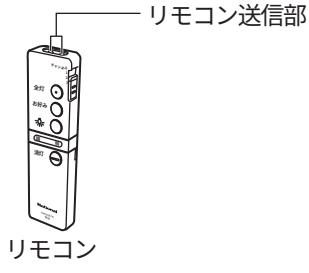
☞ 7ページ
照明器具を取り付ける」手順 6 参照

お手入れについて ⚠注意 電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に 1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

⚠注意	**構造的にやむをえず、本体よりネジの先端が出ていますので、本体お手入れの際、指先や手のけがには充分ご注意ください。**

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、本体を押し上げてからコネクタを再度、差し込む（☞ 7ページ「器具を取り付ける」手順 **5** 参照）
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめる（☞ 11ページ「ランプを交換する」手順 **2** 参照）
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞ 11ページ「ランプを交換する」参照）
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする（☞ 10ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する（☞ 11ページ「電池交換について」参照）
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる（☞ 11ページ「電池交換について」参照）
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する（☞ 10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照）

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 本体のリモコン受信器のリセットスイッチを押す（☞ 5ページ「リモコン受信器」参照）
③ 器具のチャンネルを設定する（☞ 10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	蛍光灯とLEDスポットライトが全点灯時：94W LEDスポットライトのみ全点灯時：39W （リモコンで消灯時、1W以下）	100形ツインパルックプレミア蛍光灯

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日より1年間です。
但し安定器については3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談センターならびにお客様ご相談センター「一覧表ご参照（保証書内在中）」にお問い合わせください。

松下電工株式会社　インテリア照明事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真1048